



Innovation for the Rotary club **ロータリーに新風を** 2013年3月のロータリーレポートは 1ドル=92円
パストガバナーからの手紙 125回

「TPPと日本農業再考」

炭谷 亮一

先月23日に安倍首相は訪米し、ワシントンD・Cでのオバマ大統領との会議の中で、TPP交渉の参加を表明した。私は当然の帰結であると考えている。

実のところ、アメリカも日本もGDPに占める貿易の割合はそれぞれ21.8%と25.2%であり、両国とも内需経済国家であり「TPP」参加による自由貿易による恩恵はさほど大きくないと考えられる。しかもアメリカは民主党政権で、その民主党はアンチ自由貿易だ。オバマ大統領の中で自由貿易と言うのは非常に優先順位が低く、TPP自体もマイナーな政策なのだ。

アメリカの3人の友人に「TPP」について尋ねたところ「何それ？全然知らない」との答えに驚いた。日本では小学生から高齢者まで「TPP」と言う単語を知っているのとは大きな違いである。

約2年前から「TPP」に参加は聖域なき関税撤廃、さあ大変だ、第二の黒船と日本のマスコミが煽り立て、更には「TPP亡国論」や「TPPは国家の存亡」なる大げさなテーマの本も出版される等、大変な論争となっていた。完全なる自由貿易など「経済学の教科書の中でのみ存在」し、人類の歴史上一度も行われたことはない、今後も不可能であろう。

しかも2国間のFTAやTPAならいざ知らず、日本とタイが新たに参加すれば計13カ国となり、それぞれ各国には関税撤廃に絶対に除外したい分野が1つや2つは必ず存在する為、完全自由貿易など夢の又夢と言うのが現実である。

ただ「TPP」に13カ国が加盟すれば、世界貿易の4割程度を占めることとなり、そこまで規模が広がれば日本にとって「TPP」加盟は有利であり又強権的な貿易スタイルをとる国々に是正を求める効果も期待できる。

さてこの「TPP」に対して頭初より激しく強硬に反対したのが「農協」であった。交渉に入ることすら拒絶していた。農業を語る時、一つの潮流がある。「農家弱者、危機論」である。つまり「農業はハードな割に儲からない、だからもっともっと農家を保護しないと日本人の安全・安心な十分な量の食料の確保は大変なことになる」と言う主張だ。これが長年、日本農業を語る上での主流となってきた。農協・農水省、そしてマスコミが声高に叫び続けて、助成金、補助金、所得補償等の農業支援が長年行われて来た。そして国民もしぶしぶ認めて来た。ここでは農産物の中の「米」に限定して話を進めることとしよう。

戦後60数年政府は日本人の主食である「米」の自給自足を目指して多額の国民の税金を投入して支援して来た。グロ

クラブ例会予定		2012-2013年度
3/14	呉服 弘晶	(ホテル日航金沢常務取締役総支配人)
3/21	野城会長エレクトより	PETSの報告
3/28	笠松 ゆり	(ペイフォワード代表)
4/4	清水 満	((株)明文堂プランナー代表取締役社長)

2012～2013

(役員) 会長：北山吉明 **外部**：野城 勲 副会長：宮永満祐美 幹事：川きみよ 副幹事：上杉輝子

直前会長 会計：西村邦雄

(理事) **クラブ管理運営委員長**：村田祐一 副：相良光貞(親睦：金沂秀 プログラム：若狭豊

SAA：上杉輝子 ニコニコ：井口千夏 友好・クラブ細則：魏賢任)

奉仕プロジェクト委員長：竹田敬一郎 副：後出博敏(職業：土田初子 社会新世代：武藤清秀

国際：宮永満祐美 **ラオスプロジェクト**：岩倉舟伊智 喫煙問題：村田祐一)

会員組織委員長：二木秀樹 副：江守巧 会員増強修練：金沂秀

ロータリー財団委員長：藤間勘菊 副：東海林也令子(ロータリー財団・米山：藤間勘菊 年次寄付：北山吉明)

広報委員会委員長：吉田昭生 副：江守道子(広報：谷伊津子 ロータリー情報：木場紀子

会報：石丸幹夫)

常任理事：石丸幹夫

★太字：理事役員

長期姉妹クラブ担当 南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 村田 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 木村幸生 藤間

京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 藤間 宮永

例会会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日 19:00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241(事務局)村木早苗

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9:00～15:00 休憩時間 12:00～13:00 木 15:00～20:00

休日(土日祝日) 幹事 川きみよ 090/9766/6666 副幹事 上杉輝子

一バルな米市場で対等にやっていける力をつけて来たかと思えば、品質は世界一と言っていいほど向上したが、価格では国産プレミアム状態つまり、国際規格とは雲泥の開きが存在する様になった(数倍から10倍)。今こそ「TPP」参加を日本農業をイノベーションする絶好の機会ととらえ、778%の高関税をかけて事実上輸入禁止状態にある「米」問題を国民が真剣に考える時期に来ていていると考えている。

今日まで農水省・マスコミは生産者を過剰に保護してきた、一方消費者は国内産は安心、安全の美辞麗句のもと、国産プレミアムと言えるバカ高い「米」をいやおうなしに買わざるを得ない状況であり、消費者軽視の傾向にあった。

日本は戦後、創意工夫と涙ぐましい努力によって優れた工業製品を生み出して来た。ところが「米」を含む農業分野では、政府の手厚い保護と農水省と農協の規制の為、創意工夫を欠き十分に力を出し切れなかった。ここに日本農業の悲劇があり、世界に大きく後れをとった原因だった。そこで日本農業発展の為に、種々の農政関連法を改正、規制撤廃して異業種よりの参入や大規模農業が容易に出来る方向に政策転換すべきであり、小規模農業には今後数年は支援すべきと思うが、経営がたちいかなければ統廃合も他業種と同様にいたしかたないと考えている。

農業経営も市場経済原理にゆだねれば、日本人の叡智と努力によって、世界に冠たる農業大国も夢ではない。



例会優り

689回

ホテル日航 5F

2013 3.7 (木) 19:00

出席率 20/35 57.14%

1月修正出席率 71.43%

点 鐘

ソング 『ROTARY』

四つのテスト

北山吉明会長挨拶： 今月の11日で震災が起こって丸2年が経過することになります。



節目とは何なのか。単に過ぎた時間を数えることではないとおもいます。悲しい出来事であれば、それが

起こった当時に立ち返り、悲しみを新たにし、再び繰り返さないで置こうとたく心に誓うことだとおもいます。おめでたいことであれば、やはりそれが始まった当初に立ち返り、初心を思い出し、目指してきたものを、再確認することが大切であるとおもいます。そして来るべき時に何をなしていくのかと言う思いを新たにす、それが節目の役割ではないかとおもいます。

15周年もそのような捉え方ができればとおもいます。

ゲストのご紹介 (卓話者) 柳田眼科クリニック 院長 柳田 隆 様

(米山奨学生) 郭 蒔 様 ご両親 郭 宗達 様 郭 劉揚 様

ビジターのご紹介 金沢香林坊ロータリークラブ柴田 史郎 様 村田 順子 令夫人

今月の誕生者の紹介 6日生まれ 江守 巧 会員 20日生まれ 竹田 敬一郎 会員 26日生まれ

山崎 正美 会員 27日生まれ 大沼 俊昭 会員 31日生まれ 野城 勲 会員



米山奨学期間終了に伴う贈呈式

(米山奨学生) 郭 蒔 様 奨学金支給・修了証、記念品 贈呈

(カウンセラー) 藤間 勸菊 会員 感謝状 贈呈



《食 事》



郭 蒔 様 挨拶：4年前から日本語を勉強し、留学することができ、皆様とお会いすることができました。藤間さんから電子辞書いただきました。これからも日本語、英語、中国語の辞書で勉強したく思っています。3/15が卒業式で、4/1が東京大学の開学式、4/3から正式の授業が始まります。皆様ご健康でありますように。私もこれからもがんばります。



ご両親 郭宗達様 郭劉揚様と

ニコニコBox

¥15,000- 本年度 ¥560,200- 残高 ¥4,637,416-

北山会長：柳田先生ようこそ。ありがとうございます。郭さん終了おめでとう。君の未来が楽しみです。

そして郭さんの御両親ようこそ。井口会員：柳田様、本日はようこそ。郭さん終了おめでとうございます。本日は宜しく願います。江守巧、道子会員：柳田先生ようこそ。

百万石RCに入会されては？木場会員：柴田史郎様ようこそ百万石へ。郭さんの御両親よくいらして下さいました。炭谷会員：柳田先生今夜は御苦労様です。卓話楽しみにしています。

永原会員：柳田様本日はよろしく願います。私、3/5～3/6東京出張した際、馳先生にお逢いし秘書の方に議事場を案内して頂き、議場・委員会室・自民党総裁室のイスに座らせて頂



き写真を撮りました。大変気分が良かったです。初めて見た国憲の場でした。 **西村会員**：柳田先生お久しぶりです。卓話楽しみにしています。 **村田会員**：柳田先生お久しぶりです。会員には私を入れて西村・江守と3人います。先生が入会すれば4人です。いかがですか。 **藤間会員**：柳田先生ようこそ。郭菴さんの御両親ようこそ。村田順子さんようこそ。柴田さんようこそ。

講話の時間

「 緑内障で失明しないために 」

柳田眼科クリニック 院長 柳田 隆 様

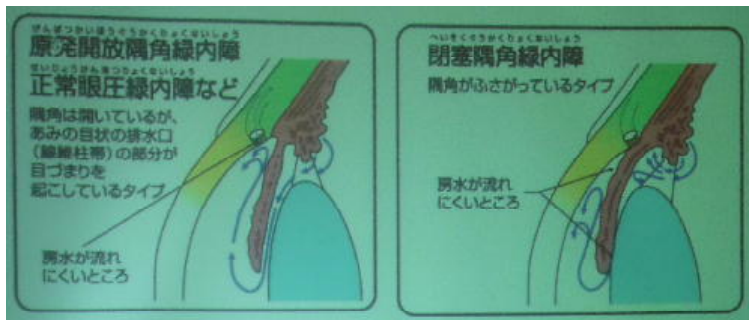
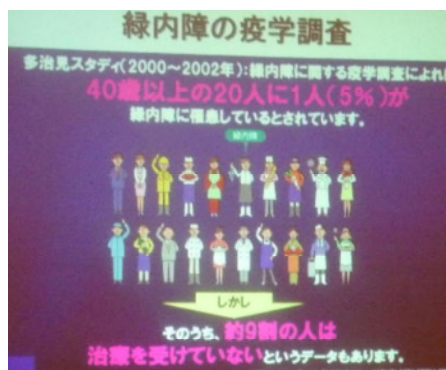
紹介 炭谷亮一会員 柳田先生は私のご近所で、お嬢様も私の娘とクラスメートです。3年目に私はペットから起きたらふらふらして電柱が曲がって見えまして先生の診察をうけました。ひょっとしたら直らないかも知れませんが、精神的なモノなら直ると言われましたら、3Wで何もしないでなおりました。ほんとうにそのとおりで名医だとおもいました。



略歴：昭和48年 金沢大学医学部卒業 昭和54～56年 アメリカ合衆国ユール大学留学（眼科視覚科学） 昭和58年 医学博士 金沢大学医学部付属病院講師
昭和62年 国立金沢病院（現金沢医療センター）眼科医長 平成12年 金沢大学医学部学外臨床教授
平成13年 金沢市にて柳田眼科クリニック開業



講話：ここには同級生もいっぱいでおどろきました。炭谷亮一先生のはストレスせいのものと思っています。昔からいわれるそこひと言われる病気は白青黒そこひがありますがひとみの色ですね。黒は網膜と視神経の病気です。この青そこひは眼圧が変化するのですが、目を圧迫すると圧力を感じるので、身体障害ではこの緑内障が一番多いのです。元に戻らないので早期治療が大切です。眼圧で目の視神経が傷つき視野が狭くなって行く病気で、中途失明の原因の第一位です。眼圧といいますが正常の平均値は13.36mgHgですが、20mgHg以下です。20を超すと視力異常がでます。眼圧を一定に保つために、毛様体で作られた房水は瞳孔を通り、殆ど隅角にある線維柱帯から排出され、一部は毛様体から吸収されます。しかし正常眼圧の緑内障もあります。硝子体は関与しませんので、房水が関与します。ここの閉塞は手術となります。40才以上では5%の人が緑内障画あるといわれていますがその90%は気づかない様です。正常眼圧の緑内障も多いです。



点鐘

タバコの真実 臨時編その1 村田祐一

中国大陸から環境汚染物質PM2.5が偏西風に乗って日本を汚染することが話題になっています。

特に春先は黄砂、スギ花粉との相乗作用で花粉症や気管支喘息など健康を害する人が増えます。

不思議とスギの林でお仕事をされる樵さんには花粉症は少ない。

山は空気がきれいなのに対し都会は排ガスなどの環境汚染物質が多いためです。

普段から都会に住む人の呼吸器表面は障害されているのに対し、樵さんは呼吸器表面が障害されていないからです。

呼吸器表面が障害されていると環境汚染物質PM2.5が付着し易く、症状をひき起こします。

日本の環境基準ではPM2.5は35μg/m³以下と低く抑えることが求められています。

このPM2.5は実はたばこの煙にも大量に含まれています。

図をご覧ください。

窓を閉めた車の中、居酒屋での喫煙行為は周囲の人々を巻き込み北京の悪環境と変わりません。

これら居酒屋などでお仕事をされている方々の健康にも悪影響を及ぼしています。

吸いたい時にあたりかまわずタバコを吸っている方は中国と同罪です。

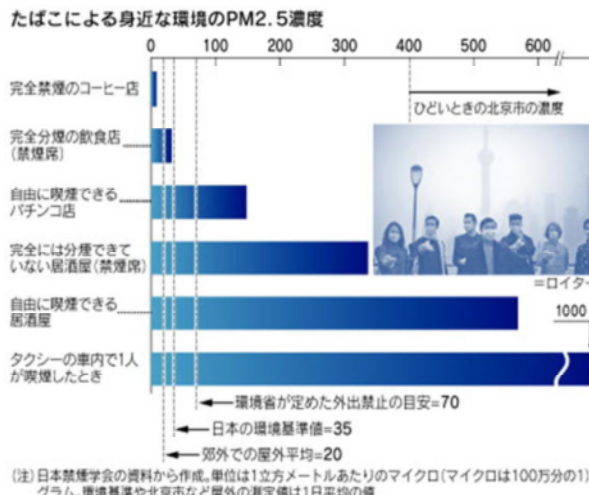
この際きっぱりと喫煙されるのが一番いいのですが、

どうしても吸いたくなったら、少し席を外して迷惑のかからないところで吸いましょう。

図は日本経済新聞から転用しました。

PM2.5濃度と健康への影響

緊急事態(251~)一般の人々の呼吸器に重い症状が現れる恐れがある
大いに危険(151~250)一般の人々の呼吸器に疾患が明らかに増える
危険(66~150)一般の人々の呼吸器に症状が現れる



韓国南光州 RC と金沢百万石 RC の Matching Grant の成立までの経過

石丸幹夫

Dear Hanae Kim

As for Primary contact Professor .Dr. Lee Sang Keun studied at the geriatric institution and did the geriatric training in Kanazawa Medical University, and he visited senior nursing home in Kanazawa city by care of our club members .In the another program, the staff of an senior and children nursing home of Kwangju city stayed in our RC member's home and studied nursing care. That was by the young people interchange projects of both clubs in a few years ago.

We hope, for economically weak old people in Korea farm village to receive a physics treatment with the medical care machine material that we helped by this project, and living a cheerful life.

We secured a fund for a project and we visit to the haus in Korea for medical plane material present ceremony in May.

Mikio Ishimaru Kanazawa Hyakumangoku RC

Dear HANA E KIM

E-mail , 4000 (가 100 RC3000 ,
 가 RC500 , RC500) ,
 . 5 가
 Mikio Ishimaru.

From: Hanae Kim [mailto:Hanae.Kim@rotary.org]

Dear Rotarian Ishimaru-sama,
 Thank you for your e-mail.

The goal of Matching Grant is to support international humanitarian service projects and to strengthen the collaboration between the Rotary clubs from two countries. As mentioned on the first page of the application instructions, Rotary clubs in two countries must implement a humanitarian project together. And all projects must have active Rotarians participation and oversight. I think this will be a good chance for Rotary Club of Kanazawa Hyakumangoku to learn what The Rotary Foundation want from Rotarians for the Humanitarian Grants. Please note that financial activity is not considered as an active participation.

If you have any other questions, please don't hesitate to contact me. Best Regards,

Hanae Kim

Coordinator, Humanitarian Grants

The Rotary Foundation

Phone: 847.866.3281

Fax: 847.556.2151

Hanae.kim@rotary.org

Dear Hnane Kim

Matchig Glant Report

Publication of this program is

1. Japan Rotary magazine (Rotary no tomo)
2. Prefecture news paper
3. Most important thing is publication to 2610district Rotarians. those peoples are not understand about such friendly connecting of Japan and Korea Rotarians in two clubs.
4. Internet publication must be done ,with 2610District and our club Home Page.

Kanazawa Hyakumangoku RC Ishimaru Mikio

Dear Rotarian Ishimaru-sama,

Thank you for your e-mail and cooperation. I look forward to delivering good news to you soon.

If you have any other questions, please don't hesitate to contact me. Best Regards,

Hanae Kim

公財) ロータリー米山記念奨学会ニュース

★ ハイライト よねやま 156号 ★ 2013年3月12日発行

: : 今月のトピックス : :

1. 寄付金速報 — 下半期の寄付状況は —
2. ベトナム現地採用奨学生が感謝のスピーチ
3. 東京米山友愛RCが創立3周年
4. 被災地に桜の植樹 — 第2620地区米山学友会 —
5. 写真で子どもたちを元気に！ — シュン・プロジェクト —

《今月のピックアップ記事》

5. 写真で子どもたちを元気に！ — シュン・プロジェクト —

映像作家として活躍する米山学友、朴ヒョンジョンさん（韓国／2009-10／東京四谷RC）が企画した「シュン・プロジェクト」が、第2580地区のロータリー財団新地区補助金を得て実現しました。

「シュン」とは、瞬間をとらえ、旬を見つけることで春を待ち望むという意味が込められています。このプロジェクトは、被災地の子どもたちにインスタントカメラを渡して撮影してもらい、現像された写真を発表したり、撮影したときの気持ちを考えてもらうものです。

子どもたちには新たな発見・表現のきっかけとなり、写真を見る人々にとっては、東北の子どもたちの「今」を知り、生の声を聞くことにつながる活動です。

昨年、福島県相馬市の小学校で行ったワークショップでは、子どもたちが友達を撮影したり、笑顔で被写体を探す姿が多く見られました。朴さんは「子どもたちの夢で撮った写真を世界に発信し、私が感じた感動や楽しさを、より多くの人々に伝えたい」と、語ります。

今後は福島県以外の場所でも、子ども対象のワークショップ、写真を鑑賞する大人対象のワークショップや展覧会など、さまざまな形で活動していきたいそうです。興味のある方は下記まで。

シュン・プロジェクトHP <http://www.shun-project.jp> e メールアドレス shunproject@gmail.com